



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健

R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/kivosedaijishyuusakkou/index.htm>

「服のチカラプロジェクト」の取り組みは続く

★2年学級委員会 & 生徒会 タイアップ企画 ～子供服リサイクル～ 実施中！

11/13(木)～11/25(火) 朝 8:00～8:20

2学年の総合的な学習の時間で、SDGs & 国際理解教育として、7月にUNIQLOを展開する(株)ファーストリテイリングに依頼して、国連難民高等弁務官事務所と連携して取り組む「届けよう、服の力」プロジェクトに参加し、世界中に溢れる難民問題の一助として、服のリサイクルの活用について学習を行いました。

その学習から端を発し、2年学級委員会と生徒会のタイアップで、服のリサイクルを全校生徒に呼び掛けて、服の力プロジェクトに取り組んでくれています。今回のリサイクルは、サイズが60～160cmまでの子供服限定で、さっそく自宅にあった服を持ってきてくれる生徒と職員の皆さんがいました。ドクロや迷彩柄など難民の子供が不安に思うものは、NGとのこと。この取り組みも3年目を迎えました。生徒の皆さんが提供してくれた服が、難民キャンプに届けられ、ままたらない避難生活を送っている子供たちが、服選びを楽しみ、少しでも心が温かくなってくれと嬉しいですね。



●黙々と作品作り！ わいわいレポート作成！ 歴史的仮名遣いムズイ！ 定期考査に集中！ がんばれ3年生

今週の火曜日からの三日間で、2学期の定期考査を実施しました。今週が終わると、作品展そして三者面談まで一週間となります。先週の3年生の授業は、どの教科も大切な1時間となり、美術では絵皿づくりの最終段階に入り、作品が完成している生徒は、時間を無駄にしないように自学に集中、理科では、台車の運動実験のようすを記録したテープを切り分けて、レポートを作っていました。国語では、古典「奥の細道」の現代語訳で内容を理解し、歴史的仮名遣いに苦戦しながら、原文の朗読に挑戦していました。そして迎えた今週の定期考査では、進路に関わるという緊張感の中、集中して試験問題を解いていました。試験中の教室では、静寂の中、カツカツと鉛筆の音が響いていました。 がんばれ3年生。 がんばっています3年生。

R7 3年授業風景11月



※3年生の授業の様子を上QRよりご覧頂けます。動画は限定公開で配信しています。公開期間は、～11/30(日)までです。

●第4回 放課後学習室 2学期期末考査期間

2学期期末考査週間の11/11(火)～17(月)の5日間、本年度4回目の放課後学習室を開室し、今回は延べ132人の生徒が利用してくれました。学年別にみると、今回は1年生の利用(のべ84人)が多かったです。利用生徒を見てみると、1年生が31名、2年生が6名、3年生が24名、計61名で、全校生徒の23%が利用をしてくれました。本年度利用者の延べ人数は、441人となりました。本校には「継続は力なり」という校訓がありますが、自学が習慣になることが、やはり学力向上のポイントだと思います。今回も、大学生の皆さんがサポートに参加して下さいました。運営をしてくださっている学校支援本部の皆さん、ありがとうございました。



◎学校・学年行事 生徒の感想文の紹介

学年・学校行事の際に生徒の皆さんが書いてくれた感想文などを各学年便りで紹介しています。ここでいくつかを再掲載して、他学年の生徒や保護者の皆様にもご紹介したいと思います。印刷室前の廊下にも、各学年だよりや、近隣小中学校の学校だよりを掲示していますので、休み時間などで読んでみてください。



《合唱コンクールの作文より》

「本気で取り組む 大切さを」 1年C組 生徒

1学年だより「百花繚乱」第19号 掲載

私は合唱コンクールを終えて、学んだことや考えたことがある。私が合唱コンクールで担当したパートはソプラノだった。ソプラノは他のパートと比べて人数が少なく、その上パート内から指揮者と伴奏者が3名選出されていたので、最初の方は声が小さく、表情や口の大きさが曖昧だった。初めて音楽の授業で課題曲と自由曲を通した時は、今よりもほとんどの人の気持ちがこもってなく、曲は残念な形で終わっていた。そんな私たちが合唱コンクールに向けての熱意が変わったのは、先輩たちの合唱を聞いてからだった。初めて合同練習をした時、3年生の先輩たちは、強弱や歌詞がはっきりと聞こえて、声量や曲の工夫から圧が伝わってきて「さすが」とクラスみんなも口をそろえて言っていた。

2年生の先輩たちも一度合唱コンクールを経験していることもあって、素敵な合唱だった。先生や実行委員の言っていた「この1年C組で歌えるのは今回しかない。」という言葉に胸に10日の本番を迎えた。トップバッターであったC組は私にとってうまくいか不安があった。でもいざ本番になると私自身楽しくできていたのではないと思う。結果は残念に終わってしまったが、周りの先生や友達のお母さんに「声が大きくて、口も大きく開いていて、とても素敵だったよ。」と言われて、今まで本気で練習をしたことに意味があったのだと思った。実際に残念な結果に涙をしていた人もいて、このクラスで良かったなと、私も感動した。私がコンクールで学んだことは何事にも本気で取り組むということだった。本気で取り組む大切さを今後に活かし、このクラスで今後も協力し合えたらと思う。

「合唱コンクールを終えて」 2年B組 生徒

2学年だより「change!」第26号 掲載

先日、中学校生活2回目の合唱コンクールが終わりました。今回の合唱コンクールは、私にとってとても思い出に残るものでした。去年は実行委員として行事に関わっていましたが、今年はソプラノのパートリーダーとして行事に関わりました。初めてソプラノのパートリーダーになり、実行委員の時とは違う緊張感がありました。初めは、今まで出したことのない高音、パートをまとめる責任感に何度も悩まされました。しかし、一人一人の声が輝き、上手く歌うことができた時の達成感は本当にかけがえのないものでした。惜しく、最優秀賞には届かなかったけれど、他の学年の合唱や、楽しんで歌う姿を見て、初めて合唱の素晴らしさを感じることができました。来年は、中学校生活最後の合唱コンクールです。3年生の合唱からは、一人一人がとても思いを込めて歌っていることが、歌声からとても強く伝わってきました。あのような力強く、素敵な合唱ができたのは、たくさんの練習、様々な人の支えがあったからこそだと思います。3部合唱から四部合唱になり、大変になることも増えると思うけれど、学年合唱では、クラスの壁を越えて、みんなで団結し合い、全力を出せたと思える、中学校生活最後にふさわしい合唱を作りたいです。

《赤ちゃんのチカラ プロジェクト 感想文》

3学年だより「飛躍前進」第29号 掲載

今回はこのような貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。今まで赤ちゃんに触れ合う機会がなかったので、赤ちゃんを笑わせたり、楽しませたりする難しさを実感しました。今まで育ててくれた方々への感謝や命の大切さを忘れないようにしたいです。(3年A組 生徒)

普段関わることのない赤ちゃんとふれ合ってみて、泣いている姿も笑っている姿も愛おしく、自分達もこうだったんだと思うと感慨深いものを感じます。それと同時に、親だけでなく様々な関りを通して成長してきたことに感謝しながら生きていかなければならないと思いました。今日の経験を今後にかしていきたいです。(3年B組 生徒)

今回の活動を通して、赤ちゃんとの関わりや成長の過程について学ぶことができました。私には妹がいますが5歳の時だったので関わり方があんまりわかりませんでした。しかし、今回の体験で学んだことは、今後の仕事や生活にも関わる大切なことだと思い、もっと理解を深めたいと思いました。

(3年C組 生徒)

※家庭配布版では、生徒の氏名をご紹介します。